



群馬大学がんプロフェッショナル養成プラン：北関東地域連携がん先進医療人材育成プラン

本プログラムは「群馬大学がんプロフェッショナル養成プラン：放射線治療品質管理インテンシブコース」の連携大学である群馬県立県民健康科学大学によるものです。このインテンシブコースでは放射線治療に関わる技術者の技術の向上により放射線治療の質と安全をより高度なレベルに導くことを目的としております。

本年度3回と4回のインテンシブコースを、下記の内容で開催致します。皆様の参加をお願い致します。

共催：群馬放射線治療技術研究会

開催場所：国立病院機構 高崎総合医療センター 2階大会議室 <http://www.tnho.jp/>

コーディネータ：群馬県立県民健康科学大学 保科正夫

Email: hoshina@gchs.ac.jp

受講手続き

講義は下記の内容となっております。希望する方は、氏名と希望講義日時を明記したメールを上記の保料のメールアドレスに発信してください。

講義スケジュール

第3回 放射線治療品質管理インテンシブコース

2011年12月23日（金、祝日）午前9時30分～12時30分

- (1) 2次元検出器（2D Array）の基本特性 9:30～9:50
話題提供：鴻野 拓哉（群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部）
- (2) 2次元検出器（2D Array）の感度補正 9:50～10:10
話題提供：樋口 彩夏（群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部）
- (3) 2次元検出器（2D Array）の感度補正の国内対応の可能性 10:10～10:30
話題提供：保科 正夫（群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部）
- (4) 線量分布の対称性からみた放射線治療計画システムの計算精度 10:45～11:05
話題提供：平野 美樹（群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部）
- (5) 高崎総合医療センター放射線治療部門の見学 11:20～12:30

講義1～3：2次元検出器2D Arrayの基本特性と感度特性

平面線量分布の取得に有効な2次元検出器2D Arrayの基本特性と感度特性について解析検討した結果を報告する。日常の品質管理における2次元検出器の有効性は高く、世界で広く利用されている。日本国内においても利用している施設が多い。この検出器は毎日の加速器ビーム管理に利用されることが多いため、出力校正や感度校正のために製造元であるPTW社（ドイツ）に送ることが難しい。このことを考慮し、この一連の報告ではRALS線源として国内で利用されているIr-192線源を用い、2D Arrayの基本特性と感度特性について解析した。

臨床において有効な活用も考えられる結果が得られたので、各施設への情報提供を兼ねて報告する。

講義4：治療計画システムの計算精度

対称性が確保されている平面分布において、治療計画システムの計算精度を平面内の対称性を評価した報告である。欧州のESTROからの報告等で理解されている治療計画システムの計算精度問題を具体的に示した結果である。日常の診療において重要な役割を果たしている治療計画システムの計算精度を簡便な指標である対称性で理解できることを示す。

施設見学

BRAINLAB社のノバリスの総合システムを中心に見学できます。

第4回 放射線治療品質管理インテンシブコース

2012年2月18日（土）午後2時00分～5時30分

(1) IMRTを立ち上げるための準備 午後2時00分～3時30分

講師：奥村 雅彦 先生（近畿大学医学附属病院）

質疑応答

(2) IMRTの検証 午後3時50分～5時20分

講師：三津谷 正俊 先生（仙台総合放射線クリニック）

質疑応答

この講義では、IMRTを如何に立ち上げ、安全に実行していくかを学びます。これからIMRTを実施していこうと計画している施設や、すでに実行している施設にとっても参考になる講演になります。受講生に配布資料も充実したものにしたいと準備しております。